

## 編集後記

長崎大学医学部保健学科理学療法学専攻卒業論文集第 8 巻が公開となりました。本巻からホームページでの公開となり、より多くの方の目に触れる可能性が高くなります。ひょっとすると、収録された論文に関心を持って本学に入学を希望する受験生も出てくるかもしれません。

本学での 4 年間(編入生は 2 年間)、特に総合臨床実習や卒業研究を通して、皆さんは「教えられる」ことから自ら考えて「学ぶ」ことへ意識の転換を求められてきました。卒業論文はその集大成と言えるでしょう。この結果は皆さん一人一人の努力の賜物であると同時に、皆さんを支えてくれた方々の存在があること、皆さんが一人ではないことの証でもあります。皆さんの周りには、困ったときに手をさしのべてくれる人がいます。そして皆さんの手を必要としている人がいます。そのことに気がつけなくなったとき、いつでも私たちが訪ねてください。

最後に、これまで 8 期生のためにご尽力いただいたすべての方に深謝いたします。今後とも卒業生の成長を見守って位いただければ幸いです。

平成 25 年 3 月

8 期生担任 鶴崎 俊哉

長崎大学医学部保健学科理学療法学専攻 8 期生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

皆様の努力の結晶である卒業研究論文集、しかもホームページ上での初の公開という形になりました。この卒業研究論文集は、4 年間の学習成果の一つで集大成です。講義や実習などで学んだこと、同級生や先輩、後輩、患者様など多くの方たちより学ばせていただいたことが、テーマ選択や研究の取り組みに大きく影響していると思います。

研究題目、内容も現役理学療法士の研究に負けていないと思います。皆様が理学療法士になってからも、患者様のためのよりよい理学療法を探究するファーストステップになったことでしょう。そして、一生この研究者マインドを忘れないでそれぞれの現場で頑張ってくださいと切に願っています。

4 月からは職業人としての新たなスタートです。私たち理学療法士の仕事は素晴らしく、非常にやりがいのある仕事です。この長崎大学で学び卒業研究論文集を成し遂げたことを誇りに持って、失敗や不安を乗り越えて大きく花開く理学療法士になられることを信じています。

平成 25 年 3 月

8 期生副担任 田中 貴子